

## 会場⑤—5 山ノ内町立山ノ内中学校1年生

- 廃油で石鹸をつくるなど実践的な学びをしているところが素晴らしいと思いました。
- 自分たちだけで盛り上がるのではなく、「外部に向けて」という視点をしっかりもっている活動のように感じました。発表もとても分かりやすかったです。自分の住む地域が大好きで、その大好きな山ノ内をもっと多くの人に知ってもらいたいという思いが伝わってきました。ありがとうございました。
- 自主性をもって ABMORI と SDGs を考えることは大学生でも難しい内容です。そのため、その二つの関係性を学び、自然な経験をしたことは素晴らしいと思いました。それがこれからの人生の良い刺激になると思います。
- 「ごみ問題を解決する」というような観点とは異なった、「自然の魅力を伝える」という観点が新しいなと思いました。今起こっている問題に解決するのももちろんですが、今も素晴らしいところに焦点を当て、その素晴らしさをもっと伸ばすことで SDGs に取り組むという考え方は私にはないものでした。非常に素晴らしい発表でした。
- 自然との共生、自然の良さということをテーマに、果物狩り、フォトコンテスト、ABIMORI など、地域共生について様々な視点から考えられていてとても興味深かったです。ABIMORI という言葉は初めて聞きましたが、詳しい説明があったことで理解できました。
- 地元のことに着目して活動をしていていいと思いました。SNS を利用した企画は現代にぴったりの企画だと思います。SDGs を意識した活動にもつながっていていいなと感じた。山ノ内に行ってみたいと思う発表でした
- 自然をテーマにおいて発表しており自然の良さを広めるためにはどうすればいいのか、ABMORI を通じてどんなことが環境に影響を及ぼしているのかよく考えられていると思いました。果物狩りやフォトコンテストなど若い人が環境に目を向けられるような活動があげられていることも素晴らしいと思いました。次は自然に関連して長野県外ではどのような活動をしているのかということにも目を向けて言った活動をする。SDGs の理解が表面的のではないのかと思いました。継続こそが大事であるので、これからも疑問に思ったことを学んでいくということをお忘れずに頑張ってください。
- 自然との共生ということで、長野県に住んでいて周りに自然がたくさんあるといっても、なかなか植樹などに参加する機会はないなと感じていました。今回の発表を聞いて、植樹だけでなく SNS を利用した活動なども行って、意外と身近に自然を感じられる機会がたくさんあったのだなと気づかされました。これからも頑張ってください
- 志賀高原の実習の前に、行く場所を調べているところが素敵でした。自然の良さを広めるために果物狩りの期間や値段が詳しく書かれていたり、インスタグラムという身近にあるものを使用したりすることで目にする機会が増えるという企画がとても素敵な企画だと思います。植樹という名前は聞いたことがあっても体験するとまた違う感覚になるということを知って体験してみたいと思いました。

- ABMORI を通した活動の発表ありがとうございました。果物狩りやInstagramを通した景色の投稿など、若い人々に向けたプロジェクトが推進されていて現代的でいいなと思いました。また植林などを通して大きな規模で環境保護を行っていて驚きました。
- 志賀高原研修を通して、自然のよさや町のよさを発信する活動が行われていることをきちんと学ぶことができていて、素晴らしいと思いました。今後は、一年次に得た学びを活かして、自分たちにできることを考えたり実行したりすれば、面白い活動になるのではないのでしょうか。
- Instagram を活用して情報を発信する取組みは令和らしいもので、拡散性が現実的にも高いように思いました。今後は植木で得られた成果などを次世代に伝承していくような取組みをしても良いと感じました。そして、私は ABMORI を初めて知ったので新鮮な気持ちで聞くことができました。より深い学びができるように今後も頑張ってください。
- ABMORI の活動から、参加者にアンケートをとる事で、参加者がどのような思いで参加しているのか、参加してみてどのように感じたかを知ることで生徒たちの活動への意欲も高まったのではないかと思います。ここからさらに、他の人へ伝えるための活動を続けて行って欲しいです。
- 素敵な発表をありがとうございました。山の内町のさくらんぼはおいしいですね。さくらんぼ狩りは利用させてもらいます。ABMORI というものは初めて耳にしました。市川海老蔵さんと植樹を下という貴重な経験をしたんですね。豊かな自然を守るための取り組みがもっともっと広まってくると良いと思いました。
- 素敵な発表ありがとうございました。ABMORI は初めて知りました。勉強になりました。現代の環境に問題がある中で、失われた土地を取り戻すという着眼点が面白いと思いました。普通の学校が体験しない活動なので、一回一回を大切にしてください。
- 地域との共生の良さが伝わった。なかなか町の外に自分たちの町の良さを伝えることは難しいことだと思うので、SNSを活用して伝えていくことは、とても良い方法だと思った。実際に学校で、写真を投稿するときなどはどのようにしていたのか気になった。
- 地域の良さを伝える活動が皆さんに伝わり、その活動が皆さんによって私たちにつながっていく感覚がありました。このようなつながりでこれらの活動がもっと広く伝わっていくと良いと思いました。活動の狙いや内容などもとても見やすくなっており伝わりやすかったです。素晴らしい発表ありがとうございました。
- おいしい果物をより多くの人に知らせたいという願いからInstagramという流行を活用して、若い人にヒットすることが出来ると思いました。ABMORI で育てた木々をバットなどにして私たちの生活に活用していくことで、自然と人間社会の共生を可能にしていると思いました。
- 小学校で取り扱っていたコカリナを中学校でも調べるなどして扱っているのは、小学校と中学校のつながりがあって、町全体が同じ方向や目標を向くきっかけになるのではないかと思います。様々な世代に注目してもらえよう世代に合わせた活動や工夫があり深く考えられていると思いました。

- 皆さんが調べた「果物がり」や「フォトコンテスト」は私も興味を満ちました。ぜひ美味しい果物を食べに行ってみたいと思いました。今までにもいろいろな体験をされてきたと思いますが、まだ一年生ということなので、これおからも自然の中で自分の体で様々な経験をしていってほしいと思います。
- 素晴らしい発表をありがとうございました。山ノ内中学校第一学年の皆さんは、志賀高原研修旅行を通して、ESD 学習をしていました。具体的には、自然の良さを広めるために、果物狩り（サクランボ・リンゴ）やフォトコンテスト（SNS）を行ったり、ABMORI という自然と人間社会の共生を実現するモデル地域としての活動のために、ABMORI とコカリナの関係を学んでいたりしていました。ユネスコスクールに認定された自分たちにできることは何か？を確かめるために現場（志賀高原）に自らの足で行く姿は素晴らしいと思いました。私も志賀高原に何度か訪れたことがあります。志賀高原の自然豊かさは県内、日本国内でも唯一無二であると思います。山ノ内中学校のみなさんから多くの人に志賀高原の魅力を広め、志賀高原を多くの人に知ってもらい、大切にしていってほしいなと思います。
- 自然の良さを広げたい思い、ABMORI を通して地球全体を思う気持ちが伝わってきました。私はABMORI を知っていましたが、そこに込められた思いを今回の発表で初めて知りました。発表ありがとうございました。
- 地元に根付いた発表だと思いました。自分の地元をほかの人にもっともらうように様々な工夫がされているように感じました。写真は誰でもいつでもとれるものであるし、景色に目をやり、この地域を好きになると感じました。
- 山ノ内の自然を生かした素晴らしい活動に感じました。特に植林については近年 SDGs について関心がある人はとても多いため、かなり注目が集めることができる活動であると感じた。この活動は都会と地方の山ノ内をつなげることのできると思う活動なので今後も是非力を入れていってほしいと感じた。
- 志賀高原研修旅行をきっかけに自分の町と他の町を比べる活動は、自分たちの山ノ内町を客観的に見つめなおすことができるため、良いと思いました。またユネスコスクールとしての自覚が中学生 1 年生ながらあり、責任感をもって学び考えており素晴らしいと感じました。
- 自然の良さを広めるためにさくらんぼやリンゴ狩りについて調べたり、山ノ内町のいいところをより広めていくためにフォトコンテストなどの活動があるのではないかと提起してくれていました。現代だと SNS が非常に普及しているため、こういった活動を投稿していけば興味を持ってくれる人が大勢出てくるのではないかと考えました。